

生命・後期・博（獣）
外国人

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 博士後期課程・博士課程学生募集要項

2019年度 秋（9月・10月）入学

2020年度 春（4月）入学

〔 外国人留学生特別選抜 〕

※出願の際は必ず冊子版を入手してください。



2019年1月

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科

<http://www.bioenv.osakafu-u.ac.jp/>

目 次

生命環境科学研究科アドミッション・ポリシー	1
I 博士後期課程	2
II 博士課程	10
生命環境科学研究科概要	19
博士後期課程・博士課程出願書類	
郵便振替払込票（入学検定料払込書）	頁外
入学願書（博士後期課程、博士課程）	頁外
受験票・写真票・郵便振替払込票貼付台紙 （博士後期課程、博士課程）	頁外
履歴書	頁外
出願資格審査用	
出願資格審査調書	頁外
研究経過報告書（博士後期課程、博士課程）	頁外
英文 入学願書（博士後期課程、博士課程）	頁外
英文 受験票・写真票・郵便振替払込票貼付台紙 （博士後期課程、博士課程）	頁外
英文 出願資格審査調書（履歴書含む）	頁外
英文 研究経過報告書（博士後期課程、博士課程）	頁外

※「入学願書」、「郵便振替払込票（入学検定料払込書）」及び「受験票・写真票・郵便振替払込票貼付台紙」以外の様式については、本学 Web サイトからダウンロードすることも可能です。

生命環境科学研究科アドミッション・ポリシー

生命環境科学研究科は、生物の多彩な生命現象・機能の解明と利用をめざしたバイオサイエンス・バイオテクノロジー、持続的な生命環境の保全創成などについての高度な専門教育を行い、先進的な技術開発や研究、学術の発展に貢献できる人材、幅広い視野、高い倫理観と深い洞察力をもち独創的な研究能力を備えた国際的リーダーとなりうる高度技術者・研究者の養成をめざします。

したがって、生命環境科学研究科では、次のような学生を求めています。

1. 生命現象、生命機能、生命環境について深い関心と理解がある人
2. 論理的な思考力と自ら学ぶ探求心を備えている人
3. 専攻する学問分野の基礎と英語についての十分な能力を身につけている人

<博士後期課程>

外国人留学生特別選抜学生募集要項

1. 募 集 人 員

専攻名	分野名	2019年度秋入学 募集人員	2020年度春入学 募集人員
応用生命科学専攻	応用生命科学分野	若干名	若干名
緑地環境科学専攻	緑地環境科学分野	若干名	若干名

2. 出 願 資 格

[2019年度秋入学]

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (2) 外国人留学生特別選抜学生として我が国の大学院に入学し、修士の学位又は専門職学位を有する者及び2019年9月30日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格又は2019年9月30日までに合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年9月1日文部省告示第118号）
 - a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 - b. 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、2019年9月30日までに24歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

[2020年度春入学]

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。

- (1) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2020年3月31日までに授与される見込みの者
- (2) 外国人留学生特別選抜学生として我が国の大学院に入学し、修士の学位又は専門職学位を有する者

及び 2020 年 3 月 31 日までに取得見込みの者

- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (6) 外国の学校において教育課程を履修し、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものに合格又は 2020 年 3 月 31 日までに合格見込みで、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年 9 月 1 日文部省告示第 118 号）
 - a. 我が国の大学を卒業し、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - b. 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2020 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

【注意事項】

2019 年度秋入学及び 2020 年度春入学ともに出願資格 (7)、(8)、(9) による志願者は、事前に「6. 出願資格審査」による資格認定手続きが必要です。

3. 国外受験について

日本国外に居住している志願者の便宜のために、遠隔中継を利用する受験を認めます。海外からの遠隔中継による受験（国外受験）を希望する場合は、事前審査が必要となります。詳細は教育推進課入試室へ問い合わせてください。

4. 願書受付期間

[2019 年度秋入学]

国外受験 2019 年 5 月 29 日（水）～5 月 31 日（金）

国内受験 2019 年 7 月 23 日（火）～7 月 25 日（木）

[2020 年度春入学]

国外受験 2019 年 10 月 29 日（火）～10 月 31 日（木）

国内受験 2019 年 12 月 9 日（月）～12 月 11 日（水）

受付時間は、10 時から 12 時及び 13 時から 15 時です。

教育推進課入試室へ持参又は郵送にて提出してください。郵送の場合は、受付期間内に必着のこと。

出願にあたっては、事前に指導を希望する教員（教授又は准教授）と相談することが望ましい。

5. 出 願 手 続

出願書類等		作成方法等
1	入学願書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の和文又は英文のいずれかの用紙を使用してください。 ・3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。
	受験票	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の用紙を使用してください。
	写真票	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月以内に撮影した写真(4cm×3cm)を貼り付けてください。
	郵便振替払込票 貼付台紙	<ul style="list-style-type: none"> ・【郵便振替払込受付証明書(お客さま用)】を貼り付けてください。 ・入学検定料が振込まれていない場合、【郵便振替払込受付証明書(お客さま用)】が出願書類と共に提出されていない場合、又【同受付証明書】に受付局日附印がない場合は、出願書類は受理しません。
2	入学検定料	<ul style="list-style-type: none"> ・入学検定料 30,000 円を郵便局の窓口で、願書受付 1 週間前から受付期間内に本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 ただし、本学大学院博士前期課程から引き続き出願する者は、入学検定料は不要です。 (注) 郵便為替、現金での納付はできません。 ATM(現金自動預入払出機)での振込はできません。 ※海外からの送金を希望する場合は振込み方法が異なりますので、事前に教育推進課入試室へ問い合わせてください。
3	修了(卒業)証明書 又は同見込証明書 (出願資格を証明する書類)	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長等が発行し、かつ、学位取得(見込み)が明記されているもの。 ・出願資格(6)に該当する者は、「博士論文研究基礎力審査」に相当するものの合格(合格見込)を証明する書類。
4	成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長等が発行し、履修した科目の単位数、成績評価を記入したもの。
5	推薦書	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の指導教授等が作成したもの。
6	履歴書	<ul style="list-style-type: none"> ・本研究科所定の和文又は英文のいずれかの様式を使用してください。
7	在留カードのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・在留カードの両面をコピーしたものを提出してください。 ・海外在住者は、パスポートのコピー(顔写真のあるページ)を提出してください。
8	受験票送付用封筒 (郵送での志願者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・長形 3 号(12.0cm×23.5cm)の封筒を使用してください。 ・送付先の住所・名前を記入し、404 円の切手を貼り付けてください。

【注意事項】

1. 出願書類を郵送するときは、必ず簡易書留(速達)郵便とし、封筒に「生命環境科学研究科入学願書 在中」と朱書きしてください。
2. 上記各証明書については、コピーしたものでは出願できません。
3. 出願書類に不備等があるものは、受理できないことがあります。
4. 出願手続後は、記載事項の変更を認めません。
5. 出願手続を完了した者に「受験票」及び「受験心得」を交付します。
6. 既納の入学検定料は次の事由以外は返還しません。

○返還可能な事由

- ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合

- ・ 出願書類が不備等により受理されなかった場合
- ・ 重複して入学検定料の払い込みをした場合

※返還方法等は、出願締切日から 1 ヶ月以内に大阪府立大学教育推進課入試室にお問い合わせください。

7. 障がいがある等で、受験上及び修学上、配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く教育推進課入試室に申し出てください。

6. 出願資格審査

2019 年度秋入学及び 2020 年度春入学の出願資格 (7)、(8)、(9) による志願者は、出願前に次により資格審査を受けてください。審査を受けようとする者は、書類を提出する前に指導を希望する教員 (教授又は准教授) に申し出てください。

- (1) 提出書類 (本研究科所定の和文又は英文のいずれかの様式を使用してください。)

- ・ 出願資格審査調書 (様式 1)
- ・ 修了 (卒業) 証明書
- ・ 成績証明書
- ・ 研究経過報告書 (様式 2)

- (2) 提出期日

受付期間

[2019 年度秋入学]

国外受験 2019 年 5 月 8 日 (水) ～5 月 10 日 (金)

国内受験 2019 年 7 月 1 日 (月) ～7 月 3 日 (水)

[2020 年度春入学]

国外受験 2019 年 10 月 9 日 (水) ～10 月 11 日 (金)

国内受験 2019 年 11 月 11 日 (月) ～11 月 13 日 (水)

受付時間は、10 時から 12 時及び 13 時から 15 時です。

※郵送の場合は必ず簡易書留 (速達) 郵便とし、受付期間内に必着のこと。

封筒に「生命環境科学研究科出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。

- (3) 提出先

教育推進課入試室

- (4) 出願資格審査の結果

審査の結果は、本人あて文書により通知します。

【注意事項】

本研究科から追加書類の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。

7. 入学者選考方法

学力試験 (口頭試問)、出願書類などに基づいて、総合判定します。

学力試験は、専門科目について口頭試問を行います。

口頭試問については、志望する試験科目区分で必ず受験してください。試験科目区分については、生命環境科学研究科概要 (p.19～21) から指導を希望する教員 (教授又は准教授) を確認し、該当する試験科目区分で受験してください。(入学願書に試験科目区分及び指導希望教員名を記入してください。)

専攻	分野	試験科目区分	専門科目
応用生命科学専攻	応用生命科学分野	A	口頭試問
		B	口頭試問
緑地環境科学専攻	緑地環境科学分野	C	口頭試問

8. 試験日時及び場所

[2019 年度秋入学]

(1) 国外受験（遠隔中継を利用して海外から受験する場合）

試験日時	試験科目	試験場所
2019年6月18日（火） の本研究科が指定する時間 ※ただし、特に事情がある場合は17日、 19日に受験を認めることがある。	専門科目 （口頭試問） 遠隔中継を利用 して実施	中百舌鳥キャンパス及び志願者の 所属大学等機関内施設

(2) 国内受験

試験期日	試験科目	試験時間	試験場所
2019年8月20日（火）	専門科目 （口頭試問）	10時開始 ※開始時刻は変更する ことがあります。	中百舌鳥キャンパス B11棟 C17棟

試験に関する詳細は、試験当日9時にB11棟入口（案内図参照）に掲示します。

※変更の場合は別途通知します。

（予備日）

2019年8月21日（水）	自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった 際の予備日とします。		
---------------	--	--	--

[2020 年度春入学]

(1) 国外受験（遠隔中継を利用して海外から受験する場合）

試験日時	試験科目	試験場所
2019年11月19日（火） の本研究科が指定する時間 ※ただし、特に事情がある場合は18日、 20日に受験を認めることがある。	専門科目 （口頭試問） 遠隔中継を利用 して実施	中百舌鳥キャンパス及び志願者の 所属大学等機関内施設

(2) 国内受験

試験期日	試験科目	試験時間	試験場所
2020年1月7日（火）	専門科目 （口頭試問）	10時開始 ※開始時刻は変更する ことがあります。	中百舌鳥キャンパス B11棟 C17棟

試験に関する詳細は、試験当日9時にB11棟入口（案内図参照）に掲示します。

※変更の場合は別途通知します。

(予備日)

2020年1月8日(水)	自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。
--------------	--

9. 合格者発表

[2019年度秋入学]

国外受験 2019年7月1日(月) 13時

国内受験 2019年9月2日(月) 13時

[2020年度春入学]

国外受験 2019年12月2日(月) 13時

国内受験 2020年1月21日(火) 13時

A3棟前掲示板に掲示するとともに、合格者については、本人あてに通知します。また、合格者受験番号の一覧を本学 Web サイトにも掲載します。Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の13時から合格者発表日を含む4日目の18時までです。

なお、電話等による可否の問い合わせには、一切応じません。

10. 入学手続

(1) 入学の時期

[2019年度秋入学] 2019年9月26日

※ただし、2019年9月26日から9月30日までの間に入学資格を得ることとなる者の入学日は、2019年10月1日とします。

[2020年度春入学] 2020年4月1日

(2) 入学手続

[2019年度秋入学]

国外受験 2019年7月上旬予定

国内受験 2019年9月12日(木)、13日(金)

[2020年度春入学]

国外受験 2019年12月上旬予定

国内受験 2020年3月26日(木)、27日(金)

受付時間は、9時30分から12時及び13時から15時です。

手続きの詳細については、合格者に通知します。

入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

入学手続書類は、必ず持参してください。郵送による受付は行いません。入学手続は代理人でも差し支えありません。

11. 学費(入学金・授業料)

(1) 入学金 (甲) 282,000円 (乙) 382,000円

[(甲)(乙)いずれも改定される場合があります。]

・入学金の(甲)とは、入学者本人又はその者の配偶者もしくは1親等の親族のいずれかが、2019年度秋入学にあつては2018年9月26日以前から、2020年度春入学にあつては2019年4月1日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者に適用し、(乙)とは甲以外の者に適用します。

※2019年9月26日から9月30日までの間に入学資格を得る者は、2018年10月1日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者になります。

・入学金は、入学手続時までに所定の振込用紙にて振込み納入してください。

・入学手続完了後は、入学料を返還しません。

(※本学大学院博士前期課程から引き続き進学する者は不要です。)

(2) 授業料 年額 535,800 円 (入学後、年 2 回分納)

(在学中に授業料改定が行われた場合には、在學生にも新授業料が適用されます。)

12. 長期履修制度について

(1) 趣旨

職業を有しているなどの事情により、標準修業年限（博士後期課程 3 年）での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて、計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得できる制度です。

(2) 出願資格

次のいずれかに該当する者は、『長期履修許可願』を提出して出願することができます。

- a. 職業を有し、就業している者
- b. 育児、介護等の事情を有する者
- c. その他、相当の理由があると研究科長が認める者

(3) 修業年限

長期履修の期間は、博士後期課程の場合は、4 年、5 年又は 6 年で認められた期間とします。

また、長期履修が認められた後、その理由が解消した場合には、『長期履修期間短縮願』により履修期間の短縮を申し出てください。

(4) 長期履修制度にかかる授業料（年額）

通常の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を、長期履修を認められた期間の年数で除した額になります。(在学中に授業料改定が行われた場合には、在學生にも新授業料が適用されます。)

また、長期履修期間の短縮が認められた場合は、本来授業料との差額を支払わなくてはなりません。

(5) 長期履修許可願の提出時期

入学願書の出願時に『長期履修許可願』を提出してください。

(6) 長期履修の許可

長期履修の許可及び長期履修期間の短縮の許可については、決定後連絡します。

(7) 長期履修の詳細については、必ず問い合わせをしてください。

提出書類のご請求及び問い合わせ先

大阪府立大学 教育推進課 教務グループ 生命環境科学研究科担当 (TEL 072-254-9401)

(注意) 長期履修を出願する場合は、事前に指導を希望する担当教員と相談しておいてください。

13. 在留資格（日本国籍を有しない者）

出入国管理及び難民認定法に基づく在留資格（以下、在留資格という。）「留学」を有しない者が本研究科へ入学を許可された場合には、遅滞なく在留資格「留学」を取得しなければなりません。

なお、在留資格「留学」以外で在留を許可されている者は、在留資格を「留学」に変更しなければなりません。ただし、在留資格「永住」「定住」「外交」「日本人の配偶者」等を有する者は、特に手続きをする必要はありません。奨学金等の関係で在留資格「留学」に変更を希望する者のみ、手続きをしてください。

14. その他

(1) 入学日が 10 月 1 日の者も、9 月 26 日から開始している後期の授業を受講することができます。

(2) 出願にともなう個人情報は、選考目的以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

(3) 個人別成績の情報提供について

受験者本人からの請求により、入学試験の成績を提供します。

請求期間は、合格者発表日から1年間とします。

詳細については、教育推進課入試室まで問い合わせてください。

- (4) 自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトの『緊急のお知らせ』に掲載しますので、確認してください。【<https://www.osakafu-u.ac.jp/>】

15. この学生募集要項に関する問い合わせ先

大阪府立大学教育推進課入試室

〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 TEL 072-254-8319

大阪府立大学 Web サイト（入試案内）

<https://www.osakafu-u.ac.jp/admission/>

合格者発表（合格者受験番号）も掲載します。



<博士課程>

外国人留学生特別選抜学生募集要項

1. 募 集 人 員

専攻名	分野名	2019年度秋入学 募集人員	2020年度春入学 募集人員
獣医学専攻	動物構造機能学分野	若干名	若干名
	獣医環境科学分野		
	獣医臨床科学分野		

2. 出 願 資 格

[2019年度秋入学]

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。なお、我が国の大学等を卒業又は卒業見込みの者においては、外国人留学生特別選抜制度により入学又は編入学した者に限る。

- (1) 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は獣医学、医学、歯学又は薬学に限る。）を修了した者及び2019年9月30日までに修了見込みの者
- (2) 我が国の大学における修業年限6年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者及び2019年9月30日までに卒業見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は獣医学、医学、歯学又は薬学に限る。）を修了した者及び2019年9月30日までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は獣医学、医学、歯学又は薬学に限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2019年9月30日までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校^{(*)1}において、修業年限が5年以上である課程（獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程に限る。）を修了すること^{(*)2}により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年9月30日までに授与される見込みの者

*1 その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。

*2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- (6) 外国において大学教育を受け、我が国の大学における修業年限6年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、2019年9月30日までに24歳に達する者
(外国の大学において、修業年限6年未満の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者で卒業後外国又は我が国において獣医学に関する研究、その他の業務に概ね2年以上従事した者等)
- (7) 外国において、我が国の修士の学位に相当する学位を授与された者又は2019年9月30日までに授与される見込みの者で本研究科において我が国の大学における修業年限6年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2019年9月30日までに24歳に達する者

- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 30 年文部省告示第 39 号）
- a. 旧大学令による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
 - b. 防衛省設置法による防衛医科大学校を卒業した者
 - c. 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で、本研究科において、第 1 号の者と同等以上の学力があると認めた者
 - d. 大学（修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、第 1 号の者と同等以上の学力があると認めた者
- (9) 次のいずれかに該当する者で、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（いわゆる飛び級）
- a. 我が国の大学（修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程に限る。）に 4 年以上在学した者及び 2019 年 9 月 30 日までに大学に 4 年以上在学する見込みの者
 - b. 外国において、学校教育における 16 年の課程（獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者及び 2019 年 9 月 30 日までに修了する見込みの者
 - c. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程（獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者及び 2019 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
 - d. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程（獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2019 年 9 月 30 日までに修了見込みの者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学（修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2019 年 9 月 30 日までに 24 歳に達する者
- (11) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学（修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

[2020 年度春入学]

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者。なお、我が国の大学等を卒業又は卒業見込みの者においては、外国人留学生特別選抜制度により入学又は編入学した者に限る。

- (1) 外国において、学校教育における 18 年の課程（最終の課程は獣医学、医学、歯学又は薬学に限る。）を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (2) 我が国の大学における修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者及び 2020 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は獣医学、医学、歯学又は薬学に限る。）を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程（最終の課程は獣医学、医学、歯学又は薬学に限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校^{(*)1}において、修業年限が 5 年以上である課程（獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程に限る。）を修了すること^{(*)2}により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

- *1 その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
- *2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- (6) 外国において大学教育を受け、我が国の大学における修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、2020 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者
(外国の大学において、修業年限 6 年未満の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者で卒業後外国又は我が国において獣医学に関する研究、その他の業務に概ね 2 年以上従事した者等)
- (7) 外国において、我が国の修士の学位に相当する学位を授与された者又は 2020 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者で本研究科において我が国の大学における修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2020 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 30 年文部省告示第 39 号）
- a. 旧大学令による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
- b. 防衛省設置法による防衛医科大学校を卒業した者
- c. 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で、本研究科において、第 1 号の者と同等以上の学力があると認めた者
- d. 大学（修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、第 1 号の者と同等以上の学力があると認めた者
- (9) 次のいずれかに該当する者で、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（いわゆる飛び級）
- a. 我が国の大学（修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程に限る。）に 4 年以上在学した者及び 2020 年 3 月 31 日までに大学に 4 年以上在学する見込みの者
- b. 外国において、学校教育における 16 年の課程（獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了する見込みの者
- c. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程（獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- d. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程（獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2020 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (10) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学（修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2020 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者
- (11) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学（修業年限 6 年の獣医学、医学、歯学又は薬学を履修する課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

【注意事項】

2019 年度秋入学及び 2020 年度春入学ともに出願資格 (6)、(7)、(8) c、d、(9)、(10)、(11) による志願者は、事前に「6. 出願資格審査」による資格認定手続きが必要です。

3. 国外受験について

日本国外に居住している志願者の便宜のために、遠隔中継を利用する受験を認めます。海外からの遠隔中継による受験（国外受験）を希望する場合は、事前審査が必要となります。詳細は教育推進課入試室へ問い合わせてください。

4. 願書受付期間

[2019年度秋入学]

国外受験 2019年5月29日（水）～5月31日（金）

国内受験 2019年7月23日（火）～7月25日（木）

[2020年度春入学]

国外受験 2019年10月29日（火）～10月31日（木）

国内受験 2019年12月9日（月）～12月11日（水）

受付時間は、10時から12時及び13時から15時です。

教育推進課入試室（中百舌鳥キャンパス）へ持参又は郵送にて提出してください。郵送の場合は、受付期間内に必着のこと。

出願にあたっては、事前に指導を希望する教員と相談することが望ましい。

5. 出願手続

出願書類等		作成方法等
1	入学願書	・本研究科所定の和文又は英文のいずれかの用紙を使用してください。 ・3ヶ月以内に撮影した写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。
	受験票	・本研究科所定の用紙を使用してください。
	写真票	・3ヶ月以内に撮影した写真（4cm×3cm）を貼り付けてください。
	郵便振替払込票 貼付台紙	・【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】を貼り付けてください。 ・入学検定料が振込まれていない場合、【郵便振替払込受付証明書（お客さま用）】が出願書類と共に提出されていない場合、又【同受付証明書】に受付局日附印がない場合は、出願書類は受理しません。
2	入学検定料	・入学検定料 30,000 円を郵便局の窓口で、願書受付 1 週間前から受付期間内に本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 （注）郵便為替、現金での納付はできません。 ATM（現金自動預入払出機）での振込はできません。 ※海外からの送金を希望する場合は振込み方法が異なりますので、事前に教育推進課入試室へ問い合わせてください。
3	卒業（修了）証明書 又は同見込証明書 （出願資格を証明する書類）	・出身大学の学長等が発行し、かつ、学位取得（見込み）が明記されているもの。
4	成績証明書	・出身大学の学長等が発行し、履修した科目の単位数、成績評価を記入したものの。
5	推薦書	・出身大学の指導教授等が作成したもの。
6	履歴書	・本研究科所定の和文又は英文のいずれかの様式を使用してください。

7	在留カードのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・在留カードの両面をコピーしたものを提出してください。 ・海外在住者は、パスポートのコピー（顔写真のあるページ）を提出してください。
8	受験票送付用封筒 (郵送での志願者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・長形3号(12.0cm×23.5cm)の封筒を使用してください。 ・送付先の住所・名前を記入し、404円の切手を貼り付けてください。

【注意事項】

1. 出願書類を郵送するときは、必ず簡易書留（速達）郵便とし、封筒に「生命環境科学研究科入学願書 在中」と朱書きしてください。
2. 上記各証明書については、コピーしたものではありません。
3. 出願書類に不備等があるものは、受理できないことがあります。
4. 出願手続後は、記載事項の変更を認めません。
5. 出願手続を完了した者に「受験票」及び「受験心得」を交付します。
6. 既納の入学検定料は次の事由以外は返還しません。
 - 返還可能な事由
 - ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・出願書類が不備等により受理されなかった場合
 - ・重複して入学検定料の払い込みをした場合

※返還方法等は、出願締切日から1ヶ月以内に大阪府立大学教育推進課入試室に問い合わせてください。
7. 障がいがある等で、受験上及び修学上、配慮を希望する者は、原則として出願までに、できるだけ早く教育推進課入試室に申し出てください。

6. 出願資格審査

2019年度秋入学及び2020年度春入学の出願資格(6)、(7)、(8) c、d、(9)、(10)、(11)による志願者は、出願前に次により資格審査を受けてください。審査を受けようとする者は、書類を提出する前に指導を希望する教員に申し出てください。

(1) 提出書類（本研究科所定の和文又は英文のいずれかの様式を使用してください。）

- ・出願資格審査調書（様式1）
- ・卒業（修了）証明書
- ・成績証明書
- ・研究経過報告書（様式3）

(2) 提出期日

受付期間

[2019年度秋入学]

国外受験 2019年5月8日（水）～5月10日（金）

国内受験 2019年7月1日（月）～7月3日（水）

[2020年度春入学]

国外受験 2019年10月9日（水）～10月11日（金）

国内受験 2019年11月11日（月）～11月13日（水）

受付時間は、10時から12時及び13時から15時です。

※郵送の場合は、必ず簡易書留（速達）郵便とし、受付期間内に必着のこと。

封筒に「生命環境科学研究科出願資格審査書類在中」と朱書きしてください。

(3) 提出先

教育推進課入試室（中百舌鳥キャンパス）

(4) 出願資格審査の結果

審査の結果は、本人あて文書により通知します。

【注意事項】

本研究科から追加書類の提出を求められた者は、速やかにその指示に従ってください。

7. 入学者選考方法

下記の学力試験（口頭試問）、出願書類などに基づいて、総合判定します。

学力試験

専門科目を中心に、口頭試問により行います。

8. 試験日時及び場所

[2019 年度秋入学]

(1) 国外受験（遠隔中継を利用して海外から受験する場合）

試験日時	試験科目	試験場所
2019年6月18日（火） の本研究科が指定する時間 ※ただし、特に事情がある場合は17日、 19日に受験を認めることがある。	専門科目 （口頭試問） 遠隔中継を利用 して実施	りんくうキャンパス及び志願者の 所属大学等機関内施設

(2) 国内受験

試験期日	試験科目	試験時間	試験場所
2019年8月20日（火）	専門科目 （口頭試問）	13時開始	りんくうキャンパス

試験場所等に関する詳細はりんくうキャンパス正面玄関に掲示します。

また受験者各人の口頭試問の時間は別途指示します。

(予備日)

2019年8月21日（水）	自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった 際の予備日とします。
---------------	--

[2020 年度春入学]

(1) 国外受験（遠隔中継を利用して海外から受験する場合）

試験日時	試験科目	試験場所
2019年11月19日（火） の本研究科が指定する時間 ※ただし、特に事情がある場合は18日、 20日に受験を認めることがある。	専門科目 （口頭試問） 遠隔中継を利用 して実施	りんくうキャンパス及び志願者の 所属大学等機関内施設

(2) 国内受験

試験期日	試験科目	試験時間	試験場所
2020年1月7日(火)	専門科目 (口頭試問)	13時開始	りんくうキャンパス

試験場所等に関する詳細はりんくうキャンパス正面玄関に掲示します。
また受験者各人の口頭試問の時間は別途指示します。

(予備日)

2020年1月8日(水)	自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった際の予備日とします。
--------------	--

9. 合格者発表

[2019年度秋入学]

国外受験 2019年7月1日(月) 13時

国内受験 2019年9月2日(月) 13時

[2020年度春入学]

国外受験 2019年12月2日(月) 13時

国内受験 2020年1月21日(火) 13時

中百舌鳥キャンパス A3 棟前掲示板に掲示するとともに、合格者については、本人あてに通知します。
また、合格者受験番号の一覧を本学 Web サイトにも掲載します。Web サイトの掲載期間は、合格者発表日の13時から合格者発表日を含む4日目の18時までです。

なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

10. 入学手続

(1) 入学の時期

[2019年度秋入学] 2019年9月26日

※ただし、2019年9月26日から9月30日までの間に入学資格を得ることとなる者の入学日は、2019年10月1日とします。

[2020年度春入学] 2020年4月1日

(2) 入学手続(中百舌鳥キャンパス)

[2019年度秋入学]

国外受験 2019年7月上旬予定

国内受験 2019年9月12日(木)、13日(金)

[2020年度春入学]

国外受験 2019年12月上旬予定

国内受験 2020年3月26日(木)、27日(金)

受付時間は、9時30分から12時及び13時から15時です。

手続きの詳細については、合格者に通知します。

入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

入学手続書類は、必ず持参してください。郵送による受付は行いません。入学手続は代理人でも差し支えありません。

11. 学費（入学金・授業料）

- (1) 入学金 (甲) 282,000円 (乙) 382,000円

[(甲)(乙)いずれも改定される場合があります。]

- ・入学金の(甲)とは、入学者本人又はその者の配偶者もしくは1親等の親族のいずれかが、2019年度秋入学にあつては2018年9月26日以前から、2020年度春入学にあつては2019年4月1日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者に適用し、(乙)とは甲以外の者に適用します。

※2019年9月26日から9月30日までの間に入学資格を得る者は、2018年10月1日以前から引き続き大阪府内に住所を有する者になります。

- ・入学金は、入学手続きまでに所定の振込用紙にて振込み納入してください。
- ・入学手続き完了後は、入学金を返還しません。

- (2) 授業料 年額 535,800円(入学後、年2回分納)

(在学中に授業料改定が行われた場合には、在学生にも新授業料が適用されます。)

12. 長期履修制度について

- (1) 趣旨

職業を有しているなどの事情により、標準修業年限(博士課程4年)での教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限を超えて、計画的に履修し、教育課程を修了することにより、学位を取得できる制度です。

- (2) 出願資格

次のいずれかに該当する者は、『長期履修許可願』を提出して出願することができます。

- a. 職業を有し、就業している者
- b. 育児、介護等の事情を有する者
- c. その他、相当の理由があると研究科長が認める者

- (3) 修業年限

長期履修の期間は、博士課程の場合は、5年、6年、7年又は8年で認められた期間とします。

また、長期履修が認められた後、その理由が解消した場合には、『長期履修期間短縮願』により履修期間の短縮を申し出てください。

- (4) 長期履修制度にかかる授業料(年額)

通常の授業料の年額に標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を、長期履修を認められた期間の年数で除した額になります。(在学中に授業料改定が行われた場合には、在学生にも新授業料が適用されます。)

また、長期履修期間の短縮が認められた場合は、本来授業料との差額を支払わなくてはなりません。

- (5) 長期履修許可願の提出時期

入学願書の出願時に『長期履修許可願』を提出してください。

- (6) 長期履修の許可

長期履修の許可及び長期履修期間の短縮の許可については、決定後連絡します。

- (7) 長期履修の詳細については、必ず問い合わせをしてください。

提出書類のご請求及び問い合わせ先

大阪府立大学 教育推進課 教務グループ 生命環境科学研究科担当 (TEL 072-254-9401)

(注意) 長期履修を出願する場合は、事前に指導を希望する担当教員と相談しておいてください。

13. 在留資格(日本国籍を有しない者)

出入国管理及び難民認定法に基づく在留資格(以下、在留資格という。)
「留学」を有しない者が本研究科へ入学を許可された場合には、遅滞なく在留資格「留学」を取得しなければなりません。

なお、在留資格「留学」以外で在留を許可されている者は、在留資格を「留学」に変更しなければなりません。

ただし、在留資格「永住」「定住」「外交」「日本人の配偶者」等を有する者は、特に手続きをする必要はありません。奨学金等の関係で在留資格「留学」に変更を希望する者のみ、手続きをしてください。

14. その他

- (1) 入学日が10月1日の者も、9月26日から開始している後期の授業を受講することができます。
- (2) 出願にともなう個人情報は、選考目的以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。
- (3) 個人別成績の情報提供について
受験者本人からの請求により、入学試験の成績を提供します。
請求期間は、合格者発表日から1年間とします。
詳細については、教育推進課入試室まで問い合わせてください。
- (4) 自然災害等により、入学試験等が予定通り実施できない場合、本学 Web サイトの『緊急のお知らせ』に掲載しますので、確認してください。【<https://www.osakafu-u.ac.jp/>】

15. この学生募集要項に関する問い合わせ先

大阪府立大学教育推進課入試室（中百舌鳥キャンパス）
〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 TEL 072-254-8319

大阪府立大学 Web サイト（入試案内）
<https://www.osakafu-u.ac.jp/admission/>
合格者発表（合格者受験番号）も掲載します。



生命環境科学研究科概要 (50音順)

<応用生命科学専攻 応用生命科学分野>

応用生命科学専攻では、地球上の生命あるものすべて（動物、植物、微生物）が生み出すさまざまな機能や生命現象を、バイオサイエンス・バイオテクノロジーの研究手法を駆使して解明し、さらに先端生命科学の多様な領域の融合によって、応用技術をつくりだすことをめざしています。この目標のために本専攻は、動植物・微生物のバイオサイエンスに関する教育研究を行うとともに、有用資源の開発と利用、新しいバイオテクノロジーの発展に貢献できる人材を養成します。

【試験科目区分：A】

(2019年1月1日現在)

名 前	職 名	主 たる 教 育 研 究 内 容
秋山康紀	教授	アーバスキュラー菌根菌 - 植物共生系における共生制御因子
乾 隆	教授	輸送蛋白質によるDDS、寄生虫の酵素化学、アレルゲン蛋白質の同定
笠井尚哉	教授	植物性食品素材の化学的解明と利用・食品素材分野における酵素利用
片岡道彦	教授	微生物酵素のスクリーニングと有用物質生産への応用
川口剛司	教授	微生物機能の探索、解明、有効利用
阪本龍司	教授	微生物由来の植物細胞壁多糖分解酵素の機能解析
谷森紳治	教授	生理活性天然物の合成、ケミカルバイオロジー、ケミカルライブラリー
山地亮一	教授	機能性食品成分によるシグナル伝達制御の解明とその応用
赤川 貢	准教授	酸化ストレスによる生体成分の酸化修飾機構の解明と機能性食品成分によるその制御
石橋 宰	准教授	非コードRNA およびその関連蛋白質の構造と機能、骨代謝、生殖内分泌
上田光宏	准教授	未利用資源の酵素を用いた資源化、生物を用いた環境浄化
岸田正夫	准教授	遺伝子覚醒化変異および細胞融合により育種された有用酵母の解析
炭谷順一	准教授	微生物由来糖質分解酵素および診断薬用酵素の機能改変、遺伝子発現制御
園田素啓	准教授	生理活性低分子の設計とライブラリー構築、化学構造－作用機序解析
谷 修治	准教授	微生物酵素の有効利用、および糸状菌の遺伝子発現メカニズム
藤枝伸宇	准教授	人工酵素の設計とバイオナノハイブリッド創出
甲斐建次	講師	微生物どうしの相互作用に係わる化学因子
原田直樹	講師	栄養代謝制御における男性ホルモンおよび機能性食品因子の作用とクロストーク
中澤昌美	助教	ミドリムシの特異代謝系解析、遺伝子操作系の開発、未利用資源活用への応用
西村重徳	助教	糖質関連酵素の触媒機構解明のための速度論的、構造生物学的解析
日比野 威	助教	ブタ骨格筋由来アデニル酸リン酸転移酵素の蛋白工学的研究
三浦夏子	助教	環境変化に応答した微生物代謝制御機構の解明と有用物質生産への応用

【試験科目区分：B】

(2019年1月1日現在)

名 前	職 名	主 たる 教 育 研 究 内 容
青 木 考	教授	作物や寄生植物のゲノム解析、組織共構築における細胞間相互作用解析
今 堀 義 洋	教授	収穫後における果実・野菜の代謝調節機構の解明
太 田 大 策	教授	シトクロムP450、メタボロミクス、代謝ゲノム工学、システムズバイオロジー
小 泉 望	教授	植物の遺伝子発現制御機構の解析、遺伝子工学の育種への応用
杉 本 憲 治	教授	クロマチン修飾、抗癌剤と細胞分裂、生きた細胞の可視化とその動態の解析
高 野 順 平	教授	植物における栄養素輸送のメカニズムと応用、トランスポーターの細胞内輸送
東 條 元 昭	教授	土壌伝染性植物病原菌の分類と生態解析および遺伝子資源評価
横 井 修 司	教授	植物の相転移・記憶のメカニズムの解明と育種への応用
稲 田 の り こ	准教授	植物と病原性微生物との相互作用機構の解明
岩 田 雄 二	准教授	植物におけるRNAを介した遺伝子発現制御機構の解明とその応用
大 江 真 道	准教授	種々の水条件下における日本型水稻の生育反応性
岡 澤 敦 司	准教授	寄生雑草の化学的制御、植物有用特化代謝物の代謝工学、植物間相互作用
尾 形 善 之	准教授	バイオインフォマティクスの方法論開発と植物ゲノミクスへの応用
塩 崎 修 志	准教授	機能性成分高含有果実の生産技術開発 果樹野生資源の開発
三 柴 啓 一 郎	准教授	園芸植物の分子育種、ジーンサイレンシング機構の解明
山 口 夕	准教授	植物のストレス対応能力と食生産への影響
小 川 拓 水	講師	植物-微生物間の分子相互作用、メタボロミクス
手 塚 孝 弘	講師	植物育種、遠縁交雑の障害となる生殖隔離の解析と打破、DNA マーカーの開発
古 川 一	講師	遺伝子発現解析による植物生理の解明
松 村 篤	講師	農耕地生態系における作物生産と土壌微生物機能との相互関係
望 月 知 史	講師	植物ウイルスによる発病機構に関する組織化学的研究
和 田 光 生	講師	養液栽培による野菜の計画的安定多収生産技術の開発、植物工場
深 田 尚	助教	細胞の力学応答における細胞骨格の役割
築 瀬 雅 則	助教	作物の出穂開花性に関する生理遺伝学的研究

＜緑地環境科学専攻 緑地環境科学分野＞

生態学やヒトの生存環境に関わる学問分野を整備・統合し、生態学的手法を用いて健全な都市圏を支える緑地環境の保全創成についての教育を行い、循環型社会の構築に貢献できる高度な専門技術・研究能力を備えた人材を育成します。

【試験科目区分：C】

(2019年1月1日現在)

名 前	職 名	主たる教育研究内容
加 我 宏 之	教授	緑地計画、景観計画、ランドスケープデザイン、住民参加型の緑地管理
上 甫 木 昭 春	教授	ランドスケープマネジメント、地域生態計画、環境教育
北 宅 善 昭	教授	自然生態系保全、閉鎖生態系生命維持システム構築、循環型農業生態系構築
藤 原 宣 夫	教授	緑化工学、ミチゲーション、水辺再生、文化的景観、地球温暖化
堀 野 治 彦	教授	水循環、農業・農村・緑地システムの多面的機能、持続的水環境の管理
山 田 宏 之	教授	都市気候、微気象、温熱環境、都市緑化
青 野 靖 之	准教授	都市気候、広域熱収支、衛星リモートセンシング、植物季節
今 西 純 一	准教授	ランドスケープマネジメント、自然や歴史・文化を活かした地域づくり
植 山 雅 仁	准教授	気象観測、リモートセンシング、微気象、CO ₂ 交換、生態系モデリング
木 全 卓	准教授	土質材料、地盤解析、緑化基盤、予防保全
渋 谷 俊 夫	准教授	植物-環境の相互作用、植物の環境ストレス応答、園芸生産における環境調節
武 田 重 昭	准教授	緑地計画、景観計画、居住空間整備、ニュータウン再生
谷 川 寅 彦	准教授	灌漑、緑化、環境、土壌
中 桐 貴 生	准教授	水資源環境保全、水循環、水文・水理学、流域水管理
中 村 彰 宏	准教授	室内緑化、種子散布、埋土種子、森林管理、移入種
西 浦 芳 史	准教授	環境親和型生物生産のシステム化、ロボット化、計測制御技術
平 井 規 央	准教授	動物生態学、生物多様性、生物間相互作用、昆虫類の生活史
平 井 宏 昭	准教授	先端的植物生産管理技術の開発
遠 藤 良 輔	講師	生体画像計測による環境応答解析、バイオマス利活用型の植物生産
上 田 昇 平	助教	進化生物学、分子系統学、保全生物学、共進化、生物間相互作用
上 田 萌 子	助教	植生景観、海岸緑地、地域文化、歴史的緑
浦 出 俊 和	助教	環境経済評価、地域資源管理、多面的機能、グリーンツーリズム
工 藤 庸 介	助教	施設景観、多面的機能、性能照査型設計法、基盤施設の維持管理
櫻 井 伸 治	助教	水-土壌-植物間における物質挙動、水循環、水質管理、流域環境保全

<獣医学専攻>

病態動物などの診断と治療及び公衆衛生分野への貢献に加えて、社会的要請が増加している高等動物とかがわりの深い動物バイオメディカル関連分野において、独創的指導能力を発揮できる国際的な研究者を育成するとともに、動物科学に精通した創造力豊かな人材を育成します。

(2019年1月1日現在)

分野	領域	名 前	職 名	主たる教育研究内容
動物構造機能学	統合生体学	岡田利也	教授	ラット腎臓の発達、スナネズミの生物学的特性
		小川和重	教授	組織の細胞構築制御・維持機構と Eph レセプター
		山手丈至	教授	創傷・肝・腎臓維化と腫瘍モデルの開発、マクロファージ機能の多様性の解明
		井澤武史	准教授	難治疾患におけるサイトカイン・液性因子の発現プロファイル解析および病理発生の解明
		桑村 充	准教授	神経疾患モデル動物の病態・遺伝解析
		中島崇行	准教授	神経細胞における虚血耐性のメカニズムの解明
		近藤友宏	助教	白内障マウスの遺伝解析
	統合バイオ機能学	小森雅之	教授	真核細胞におけるペルオキシソームの機能およびその恒常性維持機構
		竹内正吉	教授	平滑筋の弛緩・収縮機構、消化管運動における神経伝達
		中村洋一	教授	中枢グリア細胞の機能とその調節機構の解明
		東 泰孝	准教授	炎症性腸疾患の抑制性機構の解明、ならびに炎症に伴う消化管運動の変動
		片平じゅん	准教授	RNA 核外輸送の分子機構
		高野 桂	准教授	ミクログリアおよびアストロサイトの機能調節に関する研究
		中嶋秀満	准教授	神経難病の分子メカニズム解明
獣医環境科学	生体環境制御学	森山光章	准教授	正常時および病態時におけるアミノ酸代謝調節機構の解明
		三宅眞実	教授	病原細菌及び細菌毒素と、宿主細胞との分子相互作用メカニズム解明
		渡来 仁	教授	感染症における糖鎖機能の解析、リボソームを応用した DDS 開発
		西村和彦	准教授	原虫感染宿主の免疫代謝応答、食中毒細菌による食品汚染防止法
		松澤健志	准教授	細胞内寄生性細菌に対する自然免疫システムの解明
		安木真世	准教授	細菌感染症における病原因子の同定とその作用機序の解析
		岩崎 忠	助教	アレルギー性疾患発症メカニズムの解析とその治療法の確立
	感染症制御学	中川博史	助教	細胞機能阻害と細胞毒性機序
		向本雅郁	教授	細菌感染症の発症機序、病原微生物の感染制御
		山崎伸二	教授	食中毒細菌の分子疫学、簡便・迅速検出法、病原性、薬剤耐性
		勢戸祥介	准教授	病原微生物感染症の解析
		田島朋子	准教授	感染症の予防診断に関する研究
		日根野谷淳	准教授	食中毒細菌の分子疫学、簡便・迅速検出法、病原性、薬剤耐性
松林 誠	准教授	寄生虫・原虫における診断、防除、病態に関する研究		
幸田知子	助教	細菌毒素に関する研究		

(2019年1月1日現在)

分野	領域	名 前	職 名	主 たる 教 育 研 究 内 容
獣 医 臨 床 科 学	先端病態解析学	川手憲俊	教授	飼育動物の生殖内分泌とその臨床応用に関する研究
		杉浦喜久弥	教授	動物における血液・免疫疾患の解析およびがん免疫治療法の開発
		玉田尋通	教授	動物の生殖機構と繁殖制御
		野口俊助	准教授	放射線療法、分子標的薬療法及び外科的療法を用いた動物の腫瘍治療
		鳩谷晋吾	准教授	小動物血液・内分泌疾患の診断・治療法、再生獣医療の開発
		松山 聡	准教授	動物腫瘍における遺伝子変化、哺乳動物の DNA 損傷修復機構
	高度医療学	秋吉秀保	教授	小動物軟部組織外科疾患および腫瘍疾患の病態解析ならびに診断・治療法の開発
		笹井和美	教授	皮膚疾患および人と動物の共通感染症の診断法の開発
		嶋田照雅	教授	動物における腫瘍性疾患の免疫学的診断・治療法に関する研究
		長谷川貴史	教授	小動物眼科・神経・整形外科疾患の診断・治療法ならびに病態解析
		島村俊介	准教授	小動物循環器疾患の診断・治療法に関する研究
		谷 浩行	准教授	小動物の皮膚疾患および内分泌疾患の診断・治療法、血液原虫診断法
		西田英高	准教授	小動物外科疾患および神経疾患における診断法および治療法の開発、再生医療に関する研究
		藤本由香	准教授	糖代謝を中心とした肝機能とその調節機構
		古家 優	准教授	小動物の皮膚、腫瘍疾患の先端的診断と治療
		三重慧一郎	助教	小動物の周術期における炎症反応および免疫応答に関する研究